

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 05 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回避難訓練を実施しているが、夜間の非常災害に備えて、夜勤者1人で9名の利用者を安全に、安心して避難場所に、避難できる体制を確立していく。	近所に住む職員との救助体制の確認と、消防署との連携の強化を目指し、出火場所を想定し、利用者の避難順番のシミュレーションを取り入れ、職員が、冷静に迅速な、対応が出来る避難訓練の実施と、併設事業所との連携体制の強化を目指す。	12ヶ月
2		今後のグループホームのあり方について	日常生活が出来て、共同生活が出来ることが利用条件であったが、現在、利用者の看取り介護を実施していく中で、決められた人数の職員で、介護サービスの質を落とさず、利用者の重度化に対応していく対策を整えていく。	職員の経験や習熟度、やる気を考慮し、外部研修に派遣し、報告会で職員全員が知識を共有し、利用者一人ひとりの介護サービスについて、過剰な介護にならないように見守り、チーム介護を活用し、重度化に向けた支援体制を確立していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。